

**37th UN/CEFACT Forum & 39th
AFACT Plenary から**

2021年11月18日

鈴木耀夫

JTREC 国連CEFACT観光部会長

A. 37回 UN/CEFACT Forum

1. 会議開催期日

2021年10月4日(月)～10月15日(金) 内 10月11日(月)～14日(木)T/T
Domain部会会議

2. オンライン会議(WebEX方式)での開催

3. T/T Domain部会会議の参加者と日本の参加者

毎日10数人の参加で、日本からは、日によって異なるが、下記の方々の参加があった。石原、志方、堀田、中込、板垣各氏と私の参加

4. 主な討議事項

1) EPs Technical Artefacts Project (S. Mehta, Project Lead; A. Suzuki Sub-Lead)

① EPsTAの最終成果物の報告と意見交換

本成果は更に整備をして、年内にBureauへの提出と技術評価を完了し、年明けにPublic Commentsを得て、春に予定されるPlenaryに報告し完了予定。

② EPsTAの成果を基にしたRDM(Reference Data Model)化を行い、API化の進め方の提案(第3段階のEDI)が、これを推進する技術グループからあった。

API化の対応では新たなProject提案をBureauに行い、開発体制を組んで進めることになる。

③ Tai氏からはAPIプロジェクトに対する大きな期待が述べられた。

2) ST Business Standard Project (Tunghua Tai, Project Lead)

①コロナ禍のために中断していたSTプロジェクトの再開の宣言と今後の進め方について検討。

現時点では各事業者に提出するQuestionnaireの原案ができている他は、コロナ禍の直前の成果からの特段の作業成果は無い。今後1年間をかけて開発を進めることになった。

3. その他

①Genderの扱い

UN/ECEの中にこのための特別な検討グループがあり、このまとめに従うことになった。

②各国のコロナ禍の状況の意見交換

旅行業者は現時点では改善の方向にあるが、ビジネスをやめたところが多いので、自らの事業継続への不安が残るとが報告された。

B. AFACT Plenary

1. 会議開催

2021年11月8日(月)

2. オンライン会議

マレーシア主催でのMS Teamsの活用で開催

3. 会議の参加者とTT&L部門の参加者

10数人の参加

日本からは石原氏と私の参加

4. 主な討議事項

- ①AFACTの事務局はイランが交代することになり、台湾IIIが立候補して決まった。
- ②2022年の幹事国は日本が立候補して決まった。春と秋の開催が予定されること。
- ③TT&L部門では議長のA. Chien氏より、UN／CEFACTの活動の報告があった。

以上